自主的に健康づくり、介護予防の取り組みや地域貢献活動をしている「集いの場」を紹介します。

上平町内会「上平カフェ」

(代表:新藤 潤一 さん)

活動場所 上平集会所

開催日 毎月第3土曜日の午前中

活動内容 お話し、ゲーム、季節の催し

代表の新藤さんの声

これといった内容を決めず、皆さんが楽しめる ような内容で活動しています。小さいお子さんか ら、ご高齢の方まで参加されています。

「なんか寂しいな」と感じている人の居場所 になったらいいな、と思っています。

「行ってみたいな」と思う方がい たらご連絡ください。





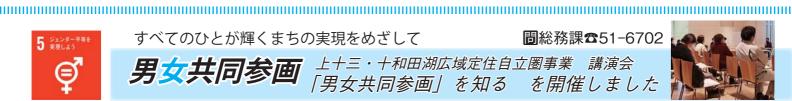
上平力フェでは、ボードゲームやボッチャなどを楽んでいます。 この活動が世代間交流やフレイルの予防にもつながっています。

「上平力フェ」やお近くの集いの場に行ってみたい人、集い の場を始めたい人は高齢介護課までお問い合わせください。

すべてのひとが輝くまちの実現をめざして

間総務課☎51-6702

上十三・十和田湖広域定住自立圏事業 講演会 「男女共同参画」を知る を開催しました



12月20日、上十三・十和田湖広域定住自立圏事業講演会として、「『男女共同参画』を知る」を開催しました。 講師の秋田大学の和泉浩教授は、男女共同参画の基本的なこととして、「(すべての人が)人として平等」で あること、「現状、どんな男の子、女の子が評価されているのか」という視点から「性別による固定的な役割分 担意識」が今の社会には根強く残っていることなどをさまざまな調査結果などをもとに話し、「男女共同参画に は時間がかかります。何か必要か、何ができるか考えてみてください」と締めくくりました。



和泉 浩 教授

講演後、参加者の皆さんから質問や意見発表がありました。



参加者からの質問

職場のやり方について。鳥インフルエ ↑ンザが流行したときに、1日3交代の勤務 が1カ月続いた時があった。その際「夜の10時から 3時まで」の枠に「○○ちゃん(女性職員)、入ら なくていいよ、あとは男性が入るから」と担当者 が指示していた。この時、どうすれば良かった?

男女平等が進んでいる社会なら、この場合も単純に「男女平 等」で良いかもしれませんが、現状は程遠いです。また、女性 が夜間働けないかというと、看護師さんなど夜間も働く女性もいらっしゃ います。そこで、実際に行うのは難しいかもしれませんが、女性でも夜 間勤務の対応が可能であるか、男性でも夜間勤務の対応が不可能か、 性別ではなく「個々の状況」で判断できれば良いのだと思います。

女性は管理職に向いていない と思う。結婚・出産で長期休 暇を取ると重要な仕事は任せられな いので、女性の昇進は難しく、給与

たとえ能力があっても、性による い」ですか? 生活の仕方が男性とでは違って、例 だと思う。

和泉教授の答え

人によって違うと思いますが、出産によ る休暇でどのくらい休みますか。子どもの 数も昔と違ってそんなに多くないですし、育児をど ちらが担うかでも休む期間は違ってきます。それに、 の差などもそのあたりからくるのでは。子どもに何かあったとき「父親は何も思わな

男性も育児を担うことによって、女性が仕事から えば、子どもが病気をしたら「寄り 離れる期間は短くて済みます。また、男性も心身 添ってあげたい」と強く思うのは母親 の病で長期間休むことがありますので実際の状況 も踏まえて判断したいです。



夫の畳んだ洗 濯物をつい畳み直 したくなってしまう。

「任せる勇気」が必要 だと思った。

市は「仕事を頑張りたい」 人も「子どもや家族に寄り添 いたい」人も、それぞれその 人らしく生きられるようなまち づくりに取り組んでいきます。